

沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出

～ 観光を支援し、環境を保全・創造する道づくり ～

(1) テーマの目的

日本を代表する観光地である沖縄では、その魅力である豊かな自然環境や周辺環境に配慮した道路整備を進めてゆく必要があります。また、県の玄関である空港から観光・リゾート地までのネットワークを強化する道路網の整備を進めるとともに、景観や周辺環境に配慮した道路、歩道、遊歩道、公園・緑地等、アメニティを高める公共インフラの整備が必要です。

そのためには、自然・環境の悪化を小さくするため、地域の状況に応じて、環境保全施設を整備したり、設計速度など道路規格を見直したりすることで、道路を新たに整備するばかりでなく、既存ストックを有効に活用する検討を行う必要があります。また、自然環境の保全や再生に積極的に取り組むとともに、電線類地中化等良好な景観の形成、沖縄らしい魅力ある県土の修景緑化やまちづくり等を推進し、快適で美しい観光・リゾート空間の創出が必要です。

本テーマは、沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出を支援するものです。

(2) 平成 15 年度の成果（達成度）(P79～P81)

一般国道 58 号宜野湾市伊佐地区で排水性舗装を実施したことにより、騒音レベルが減少し、県内の夜間騒音要請限度の達成率は 91% から 92% へと 1 % 向上しました。

(3) 現状と今後の取り組み（業績計画）(P82～P85)

夜間騒音要請限度の達成率は 1 % 向上したものの、道路利用者満足度調査（H15 年度調査結果）では、『家のまわりの沿道環境について』の満足度は 5 点満点で「2.45 点」と全国 46 位の評価となっています。夜間騒音要請限度超過区間の削減に向けた事業を進めるとともに、将来的に超過する危険がある区間について把握していきます。

H15 年度で用いた自然・環境の保全に対する事業の効果をみるためのアウトカム指標

【指標 - 8】 夜間騒音要請限度達成率（最終アウトカム指標）

～観光を支援する道づくりについて～

観光立県である沖縄では、道路もその一翼を担っています。その支援に向けて、緑化・歩道の整備・道路標識の整備等を進めます。

<観光立県として沖縄らしさを演出する取り組み>

- ・沿道の緑化（P.84）
- ・歩きやすい歩道（P.84）

(1) テーマの実現に向けた平成 1 5 年度の取り組み

平成 15 年度では、本テーマに関して以下の事業が供用されました。

<H15 年度業績計画書において示された主な事業・施策>

一般国道 58 号宜野湾市伊佐地区

一般国道 330 号那覇市安里～古波蔵地区



<H15 年度に供用した事業・実施した主な事業・施策>

一般国道 58 号宜野湾市伊佐地区

一般国道 330 号那覇市安里～古波蔵地区 (継続中)

一般国道 330 号那覇市安里～古波蔵地区については、1.6km の内 0.6km については排水性舗装工事が終了していることから騒音調査はまだ実施されていないが、夜間騒音の限度値を達成しているものとした。

(2) 事業・施策の実施によるアウトカム指標値の変化と目標達成度(達成度報告)

【指標 - 8】夜間騒音要請限度達成率

1) アウトカム指標値に変化を与える主な要因

<プラス効果要因>

舗装改良事業による騒音減少

- ・ 一般国道 58 号宜野湾市伊佐地区では排水性舗装改良により、騒音レベルが低下しました。

<マイナス効果要因>

排水性舗装の機能低下

- ・ 排水性舗装の老朽化により、騒音減少機能が低下します。

交通量の増加

- ・ 交通量の増加に伴い、騒音レベルが増加します。

2) アウトカム指標毎の実績と評価

事業の進捗

- ・ 平成 15 年度に実施した事業は完了しました。

効果

- ・ 夜間騒音要請限度達成率は、事業が実施され、平成 15 年度の目標(92%)を達成することができました。
- ・ 排水性舗装道路の施工に伴い、交通量が増加しているにもかかわらず、騒音レベルが大幅に減少しました。

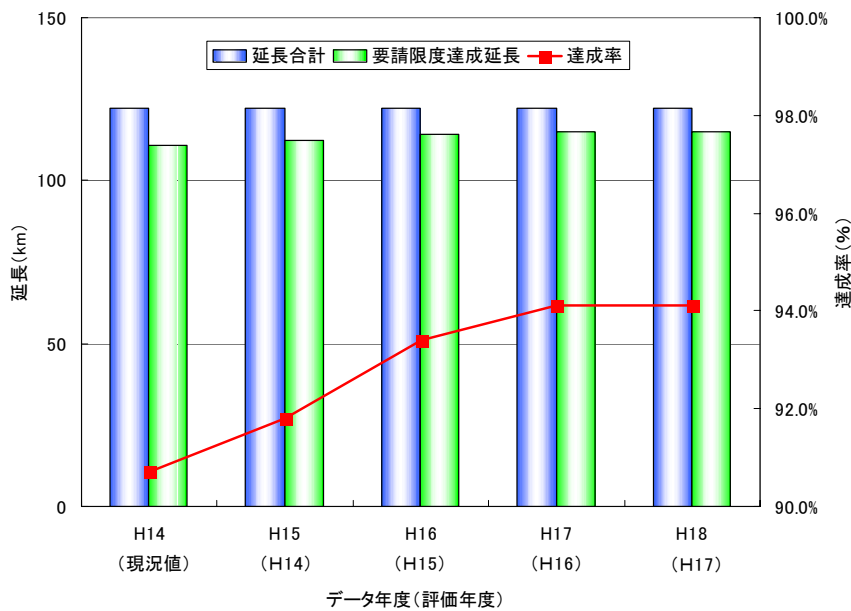
一般国道 330 号那覇市安里～古波蔵地区については、1.6km の内 0.6km については排水性舗装工事が終了していることから騒音調査はまだ実施されてはいないが、夜間騒音の限度値を達成しているものとした。

事業の進捗

平成 15 年度に実施した事業は完了しました。

表 平成 15 年度実施事業および施策

路線名	区間	事業内容	事業実施主体	供用状況
一般国道 58 号	宜野湾市伊佐地区	排水性舗装	沖縄総合事務局 南部国道	H15 年度完成供用
一般国道 330 号	那覇市安里～ 古波蔵地区	排水性舗装	沖縄県	H15 年度継続中

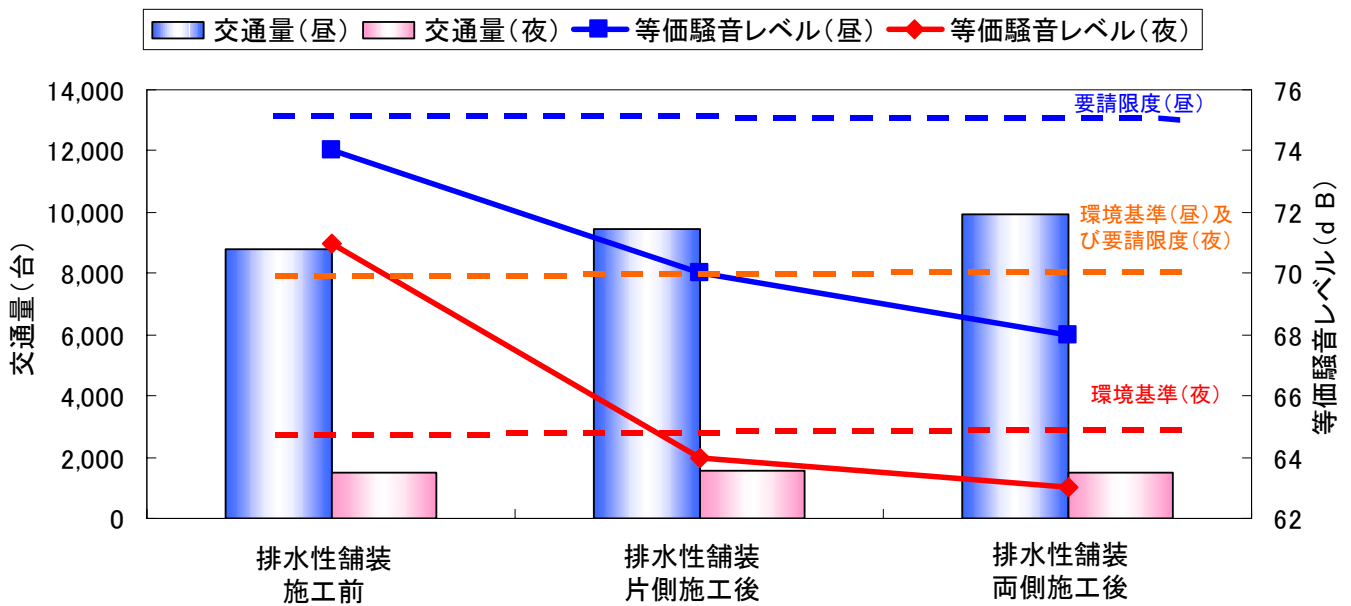


出典：沖縄総合事務局資料

図 夜間騒音要請限度達成率の推移(将来目標含む)

排水性舗装による騒音減少効果

排水性舗装を実施することにより、一般国道58号宜野湾市伊佐地区では交通量が増加しているにもかかわらず、騒音が減少しており、昼間・夜間ともに環境基準を達成することができました。



出典：沖縄総合事務局資料

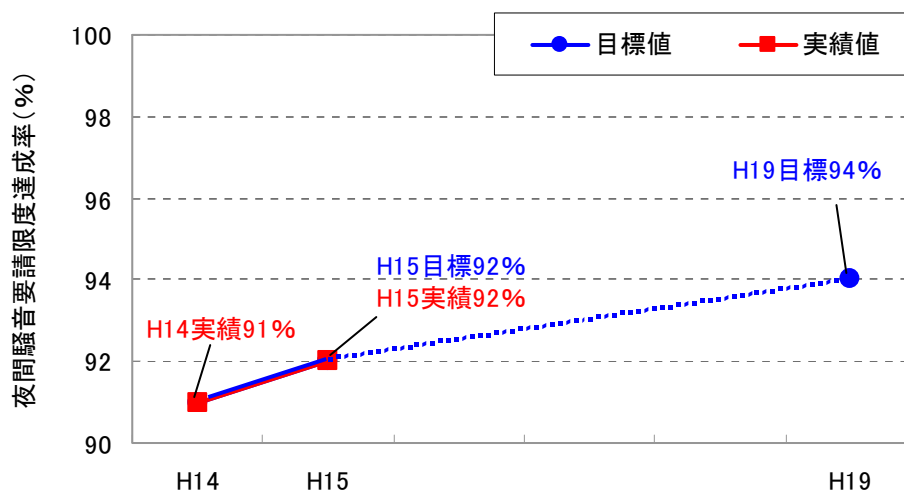
図 排水性舗装施工前後の騒音レベルの変化(宜野湾市伊佐3丁目)

3) テーマ実現に向けたアウトカム指標の平成15年度の目標値と実績値

テーマ実現に向けたアウトカム指標の平成15年度の目標値と実績値は、以下に示すとおりです。

表 指標ごとの目標値と実績値

アウトカム指標		H14年度 実績値	H15年度 目標値	H15年度 実績値
【指標 - 8】	夜間騒音要請限度 達成率	91%	92%	92%

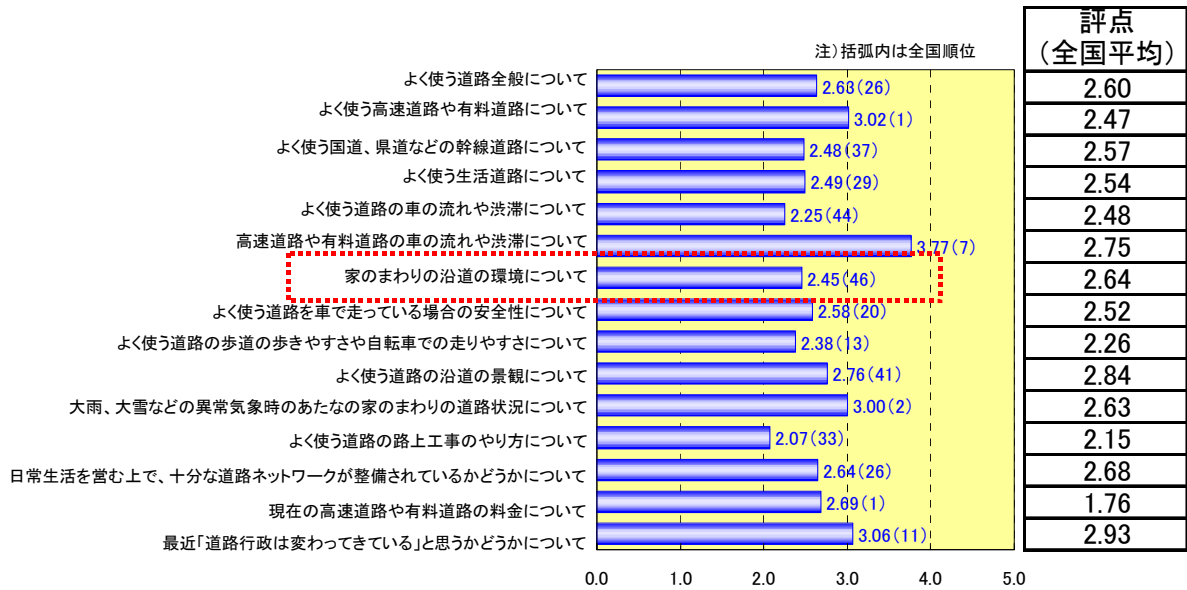


(3) 現状と今後の取り組み(業績計画)

1) 現状と課題

身近な沿道環境についての満足度の低さ

夜間騒音要請限度達成率は、平成15年度時点で沖縄では92%と全国の64%と比べ達成率は高くなっていますが、「道路利用者満足度調査(平成16年度調査結果)」によれば、『家のまわりの沿道環境について』の満足度は5点満点で「2.45」と全国46位の低さとなっており、より一層の改善が求められています。



出典：道路に対する利用者満足度調査結果(H15)
国土交通省資料

図 道路利用者満足度調査結果(沖縄県)

補助国道で低い夜間騒音要請限度達成率

現状では、直轄国道（指定区間）¹に比べ補助国道（指定区間外）²の夜間騒音要請限度達成率が低いため、補助国道（指定区間外）²で重点的に、騒音要請限度超過区間を解消させる予定となっています。

- 1 直轄国道（指定区間）とは沖縄総合事務局が管理している一般国道
- 2 補助国道（指定区間外）とは沖縄県が管理している一般国道

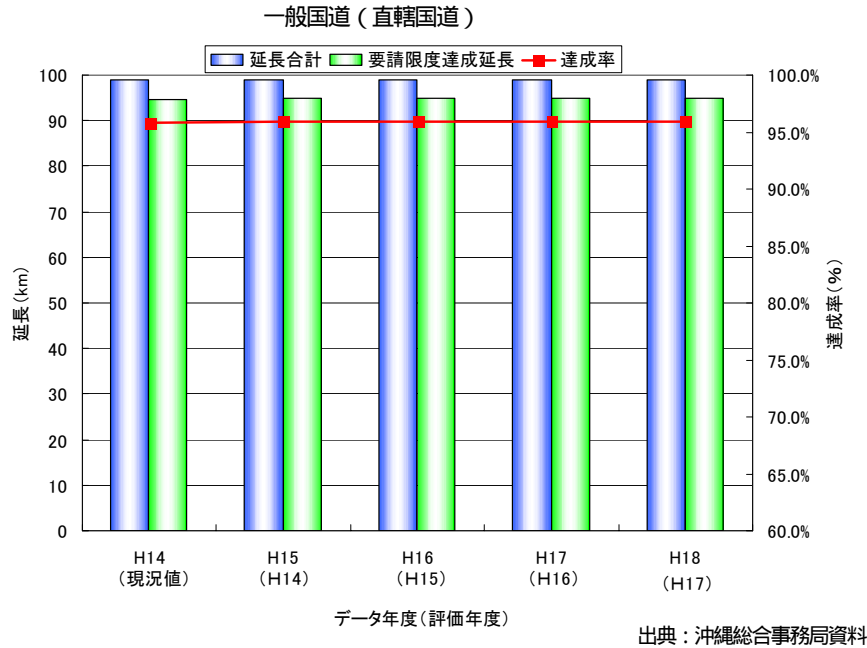


図 夜間騒音要請限度達成率の推移（直轄国道）

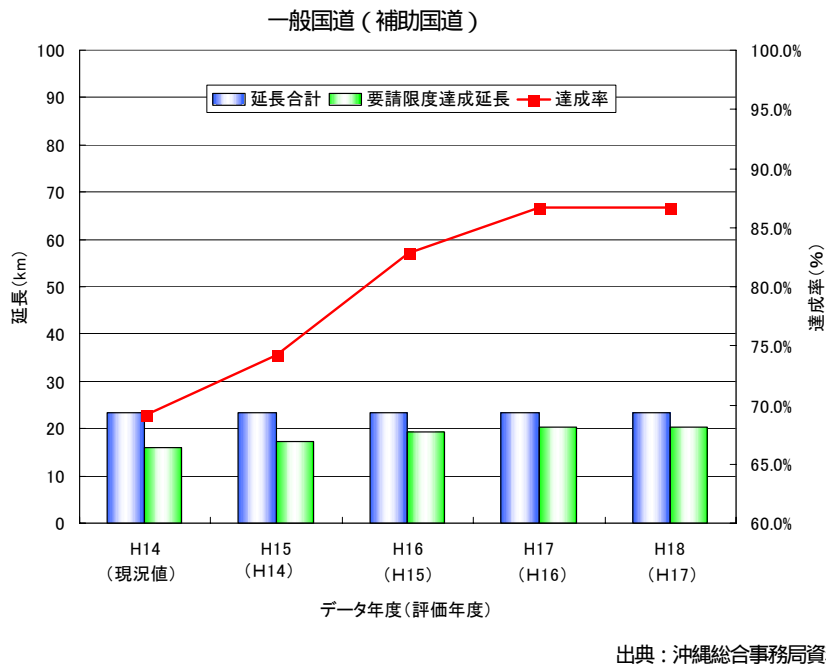


図 夜間騒音要請限度達成率の推移（補助国道）

沿道の緑化と歩きやすい歩道

観光地である沖縄において、道路でも「沖縄らしさ」を感じていただける工夫を実施します。

表 道路種別毎の緑化延長

道路種別		全延長 (km)	緑化延長 (km)	緑化率 (%)
国道	直轄国道	299.0	197.7	66.1
	補助国道	158.8	77.7	48.9
主要地方道		390.0	187.6	48.1
一般県道		597.0	228.7	38.3
合計		1,444.8	691.7	47.9

出典：H11 道路交通センサス



a) 一般国道58号(恩納)



b) 一般国道58号(許田)



c) 一般国道505号(本部)

図 沿道の緑化箇所の例

表 幅広歩道延長

道路種別		全延長 (km)	幅広歩道延長 (km)	幅広歩道延長整備率 (%)
国道	直轄国道	299.0	156.7	52.4
	補助国道	158.8	78.6	49.5
主要地方道		390.0	103.7	26.6
一般県道		597.0	80.9	13.6
合計		1,444.8	419.9	29.1

代表幅員3.0m以上の歩道設置延長

出典：H11 道路交通センサス



図 空間の創出



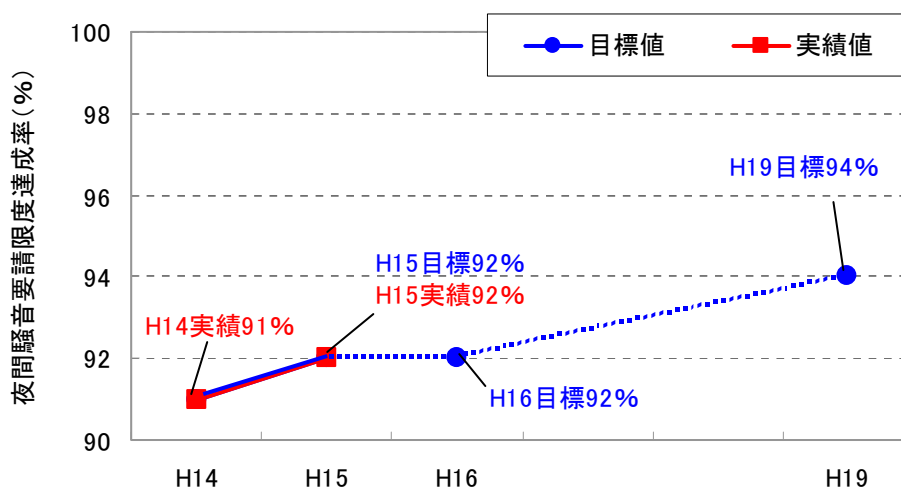
図 幅広歩道整備

2) 平成16年度目標値

平成16年度は平成15年度までの現状と課題に基づき、繰り越し事業を早急に完了させるとともに、『沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出 ～観光を支援し、環境を保全・創造する道づくり～』に向けた取り組みを行います。

表 アウトカム指標の目標値

アウトカム指標		H15年度 実績値	H16年度 目標値	H19年度 目標値
【指標 - 8】	夜間騒音要請限度 達成率	92%	92%	94%



H16年度目標値設定方法：前年度の目標設定値を引き継ぎ、H14年度とH19年度のトレンドにより、H16年度目標値を設定。

3) 目標を達成するために供用を目指す主な取り組み (H16～H19)

平成16年度目標値を達成するために実施すべき主な取り組みは、以下に示すとおりです。

表 目標に向けた主な取り組み

アウトカム指標		H16年度完了予定の 主な取り組み	H17年度～H19年度までに 供用を目指す主な取り組み
【指標 - 8】	夜間騒音要請限度達成率	・一般国道330号 (那覇市安里～古波蔵地区)	・一般国道330号那覇道路